

本庄早稲田・リサーチパークニュース2018.11

ゼロから始める創業スクール



本庄早稲田塾「ゼロから始める創業スクール」は今年で4期目になります。

今年度は9月8日(土)から講義が始まり、全5回の講座で創業に必要なマーケティング、会計、税務、法務等の知識や資金調達方法を学ぶとともに、ビジネスプランを作成し、最終日の10月13日(土)には14名の受講生がビジネスプランを発表しました。修了式では、当財団理事長の吉田信解より受講者に修了証書を手渡し、ビジネスプラン1位の発表を行いました。1位には「ヨガ・ストリートダンス」をテーマとした本庄市の小林千麻さんが選ばれました。

当講座は経済産業省の平成30年度潜在的創業者掘り起こし事業の「認定創業スクール」として認定されており、当財団の創業スクール受講生を全国創業スクール選手権へ推薦することができます。今年度は最終日のビジネスプラン発表会にて1位になった小林千麻さんに、創業スクール選手権へビジネスプランを提出していただきます。審査は、1次審査(書類審査)、2次審査(面接審査)と最終審査(プレゼン審査・経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞を決定)で構成され、2次審査まで進むと全国創業スクール選手権でビジネスプランの発表を行うことができます。

小林さんは2017年6月に本庄市内で「ヨガ&ストリートダンス専門スタジオ StartUP!!Studio」を運動指導者の小林さんとダンサーでありダンスインストラクターのご主人とお二人で創業されました。「誰かの何かのキッカケになりたい」をコンセプトに、お二人の人生をより幸せなものに変えてくれた「ヨガ&ダンス」で、今の自分から何か変わりたいと思っている人のお手伝いがしたい、地域と繋がり、このスタジオが人生を楽しむ仲間たちとのコミュニティの場になって欲しいとイメージして運営されています。

【ヨガ&ストリートダンス専門スタジオ StartUP!!Studio】<http://startupyogadance.com/>

小林さんのビジネスプラン作成を講師・事務局ともに支援していきます。

また、スクール終了後も修了された皆さまの事業を支援してまいります。



*当創業スクールを受講し、一定の要件を満たした場合、会社設立時の登録免許税の軽減、創業関連保証枠の拡充といった特例の適用を受けることができます。(詳細は、本庄市HP産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」についてをご覧ください。)

本庄早稲田・リサーチパークニュース2018.11

河川環境保全活動 ～川の生き物みつけ隊・藤田小学校河川調査～



10月6日(土)に本庄市内を流れる男堀川(おとこぼりがわ)で、「川の生き物みつけ隊」を開催し、小学生10人と保護者10人が参加しました。川の生き物みつけ隊は、川の清掃と、身近な環境の豊かさを、生物が互いにつながって生息している仕組みを、実体験を通して学ぶことを目的に、毎年行っている財団の河川環境保全事業です。

両岸を清掃しながら、川まで移動し、胴長靴にはきかえ、生息する水生生物を調査しました。講師には今年も引き続き埼玉県環境科学国際センターの金澤 光(かなざわ ひかる)氏をお迎えし、子供たちが見つけたオイカワ、タモロコ、ナマズ、トウヨシノボリ、エビ類など19種の水生物について特徴などの説明を受けました。小学3年生の女子児童は「いろんな生き物がとれてうれしかった、また来たいです。」と話してくれました。流域の企業や本庄市、埼玉県の職員の方が協力して参加者の安全を見守り、川について一緒に学ぶ良い機会となりました。

また10月24日(水)には財団がコーディネートしている本庄市立藤田小学校の秋の河川調査が実施されました。この調査はきれいな小山川と汚い元小山川に5、6年生が入り、汚い川をきれいにするために何ができるかを考える学習会です。今回の調査では元小山川でウグイが初めて確認されました。



元子山川で見つかったウグイ

ウグイは本庄市の河川環境の目標の種。平成17年から続く藤田小学校の河川調査で初めて発見することができ、講師の埼玉県環境科学国際センターの金澤氏も児童も環境が改善してきていることを大変喜んでいました。

11月7日(水)春と秋の調査結果をまとめて発表する事後授業を行い、春の調査で宿題となっていた国内外来種のタモロコが関東にいる理由と、なぜ今回ウグイを発見することができたのかを話し合い、2つの川がつながっていることをヒントに3月に行う川のシンポジウムに向けてまとめていきます。

グローバルキャンプinかみかわ 8月7日(火)

神川町から委託を受け、夏休みを利用して神川町の小学生が外国人留学生と英語でふれあう疑似留学体験「グローバルキャンプinかみかわ～町内で留学体験～」を神川町多目的交流施設で行いました。

早稲田大学などで学んでいる留学生6名と、神川町の児童29名(4～6年)がお互いの国、町の特徴や自慢などを英語で紹介しあうとともに、準備したネームカードを使って英語で名刺交換を行いました。グループワークでは好きな本の話や、スポーツ、テレビ番組の話など、話題が飛び交い楽しみを共有しながら、英語を使うことへの自信をつけていきました。



本庄早稲田・リサーチパークニュース2018.11

地域産業人材育成研修 ～本庄早稲田塾～

「新任管理監督者研修」 7月3日(火)、4日(水)

(有) ミッション代表取締役の田中久男先生を講師にお招きし、新たに管理者(課長・係長クラス)になって5年以



内の方などを対象に、組織を担うミドルマネージャーが知っておくべき知識、役割、マネジメント能力などについて、講義をしていただきました。

研修ではマネジメントとリーダーシップ、部下の指導と育成、コーチングとコミュニケーションなどについて学びました。研修は、講師の提示したテーマを各自で検討した後にグループ討議でまとめ上げて発表。「分かりやすい」、「すぐに職場で活用したい」など、好評のうちに終了いたしました。

「タイム・マネジメント研修」 7月24日(火)

(株)アビライト代表取締役の安部博枝先生を講師にお招きし、効率よく仕事を進めるための考え方や、タイムマネジメント



手法などについて講義していただきました。

研修では、グループディスカッションを軸に、現状分析と目標設定、成果の見える化などを学ぶとともに、事例研究として効果的に仕事を進めるための優先順位などについてグループ討議でまとめ上げ、発表を行いました。終了後は「社内でぜひ共有したい」などの声も多く、満足度の高い研修でした。

「中堅女性社員キャリアアップ研修」 9月4日(火)

(株)キャラウイット代表取締役の上岡実弥子先生を講師にお招きし、中堅女性社員を対象に講義をしていただきました。



研修では、女性を対象とした講座である利点を最大限に生かし、グループでの話し合いやロールプレイを通じて、中堅社員としての組織の活性化や、男女や立場のちがひ、後輩や部下との接し方などを学びました。

実施後のアンケートでは、「上司・部下・男性・女性の考え方のちがひがよくわかった」、「自分が今、課題としている所(後輩育成等)だったので、とても参考になりました」など、好意的な評価を多数いただきました。

「生産現場の問題解決研修」10月23(火)、24日(水)

(有) コンサルティングベルオフィス代表取締役の鈴木規男先生を講師にお招きし、講義をしていただきました。



研修では、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の必要性を分かりやすく解説。現場で生じている実際の問題を事例として取り上げ、グループでの話し合いを通じて、現場での問題解決の手法を学びました。

実施後のアンケートでは、「実体験と重なる事例が多く、とてもわかりやすかった」、「現場の目線を重視していただき、非常に面白かった」、「大変満足しており、社に帰ったら実践していきたい」など、好意的な評価を多数いただきました。

本庄早稲田・リサーチパークニュース2018.11

農商工連携マッチングセミナー 10月18日(木)

中小企業庁「平成30年度農商工連携促進事業」の一環として農商工連携マッチングセミナーを開催しました。

基調講演には早稲田大学 人間科学学術院 教授 原太一先生から「食品の機能性と今後の産業展開に関する課題」と題した講演をいただきました。



また、地域資源の活用事例として、埼玉県内で活躍されている生産者3氏による発表が行われました。

○オリーブを活用したソーシャルファームの未来像（埼玉福興株式会社 代表取締役 新井氏）

○狭山茶の付加価値を高めるペースト化の事例（有限会社東阜 横田園 横田氏）

○ホンモロコの新たな商品開発の取組み事例（柿沼養魚場 代表 柿沼氏）

セミナー終了後の交流会にも多くの方々にご参加を頂き、生産者の展示品を見ながら活発な意見交換が交わされ、盛況のうちに終わることができました。

当財団では、これからも地域の活性化をめざし、様々な地域資源の発掘・発展に務めるとともに、農商工連携の促進に取り組んでいきます。



イベントカレンダー

【11月】

■11/6（火）、7（水）

財務管理研修

■11/22（木）

農商工等連携事業計画認定取得のための勉強会

【12月】

■12/5（水）

営業交渉力向上研修

編集後記

2018年度は当財団にとって大きな節目の年と言えます。これまでの事業を大幅に見直し、整理・統廃合を進めるとともに、6月には吉田本庄市長が理事長に就任し、新たな執行体制に移行しました。今回のリサーチパークニュースでは、今年度実施した主な事業について概要を紹介させていただきました。これからも、役員一丸となって、地域の活性化に貢献できるよう、頑張ってお参ります。（齋藤）